


# 令和 2 年度 愛知県高等学校柔道選手権大会

## 実 施 要 項

- 1 主催 愛知県高等学校体育連盟
- 2 共催 愛知県教育委員会
- 3 後援 (一社)愛知県柔道連盟
- 4 期日 令和 2 年 8 月 1 日(土) 10:00～ 男女個人戦  
令和 2 年 8 月 15 日(土) 10:00～ 男女団体戦
- 5 会場 愛知県武道館 第 1 競技場 名古屋市港区丸池町 1-1-4(TEL 052-654-8541)
- 6 参加費 個人戦、団体戦ともに 1 名 700 円(試合当日の受付で支払うこと)  
※ 個人戦、団体戦の両方に出場する場合は両方とも参加費を支払うこと
- 7 申し込先・期日
  - (1) 申込方法  
団体戦・個人戦ともに、以下のリンクから申込用エクセルファイルをダウンロードすること。必要事項を入力し、そのシートを印刷したものに学校印を押すこと。  
  
エントリー用エクセルファイル  
[https://drive.google.com/file/d/1\\_c9bVUBt3j3Lor0KbneyM7RmTJd2-qr5/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1_c9bVUBt3j3Lor0KbneyM7RmTJd2-qr5/view?usp=sharing)  
※必ずファイルをダウンロードしてから使用してください。
  - (2) 申込先  
印刷した書類は郵送で、データはメールで下記まで送ること。(書類とデータの両方が揃わないと、エントリー完了とはならない)  

〒475-0903 半田市出口町1-30 愛知県立半田高等学校 伊東朝樹 E-mail asahiro_111@circus.ocn.ne.jp
---
  - (3) 申込み締め切り日  

7/21(火) 必着(メール、郵送ともに)

団体戦・個人戦の申込において、規定の期日までに必要な書類やデータが届いていない場合は参加することはできない。
- 8 組み合わせ  
7/28(火)に、委員長および各支部長による組み合わせ会議を行って決定する。7/28(火)以降に、愛知県高体連のホームページに公開する。(公開日は変更の場合もあり)
- 9 参加資格
  - (1) 学校教育法第 1 条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒。  
上記以外の学校の参加については、愛知県高等学校総合体育大会の参加資格に準ずる。
  - (2) 愛知県高等学校体育連盟加盟校の生徒であり、全日本柔道連盟の競技者登録をしている者。
  - (3) 学校長の出場許可のある者。(健康診断実施のこと)
  - (4) 平成 13 年 4 月 2 日以降に生まれた者、ただし、同一学年の出場は 1 回限りとする。

- (5) チーム編成において、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混合は認めない。
- (6) 外国人留学生については、愛知県高等学校総合体育大会の参加資格に準ずる。
- (7) 転校後の参加については、転校後 6 ヶ月を経過していること。ただし、一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、高体連柔道部長の許可があれば、この限りではない。

## 10 男女団体戦

### (1) チーム編成

- ① 男子団体のチームは監督1名、選手5名、補欠3名の計9名を持って編成し、1校1チームとする。ただし、選手3名以上で参加可能とする。
- ② 女子団体のチームは監督1名、選手3名、補欠2名の計6名を持って編成し、1校1チームとする。ただし、選手2名以上で参加可能とする。
- ③ 選手変更(登録選手の入れ替え)は選手変更届(校長印の捺印してある所定の変更届用紙)で1名のみ入れ替えができる。9:00～9:40までに選手変更受付に提出すること。ただし、必ず補欠を優先的に充当し、充当する補欠選手は3名(女子は2名)の中から監督が任意で選んでよい。

### (2) 試合方法

- ① 男女ともフリーエントリーとし、トーナメント方式で実施する。
- ② 選手配列は固定とする。
- ③ オーダー変更(補欠との入れ替え)は、試合開始前までに会場係に申し出ること。ただし、一度補欠を入れた場合、再度入れ替えることはできない。また、充当する補欠選手は、3名(女子は2名)の中から監督が任意で選んでよい。

### (3) 試合規定

- ① 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。
- ② 試合時間は3分とする。ただし、決勝戦のみ4分とする。
- ③ 判定基準は、「技有」または「僅差」以上とする。  
※「僅差」とは技によるスコアが無い場合、または同等の場合に、指導差が2以上ある場合を僅差による優勢勝ちとする。指導差が1であれば、引き分けとする。
- ④ チームの勝敗の決定は以下の順で決める
  - (ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
  - (イ) 勝ち数が同等の場合、「一本勝ち」が多いチームを勝ちとする。  
※「一本勝ち」と「反則勝ち」は同等とする。
  - (ウ) 「一本勝ち」の数が同等の場合、「技有勝ち」が多いチームを勝ちとする。
  - (エ) 「技有勝ち」の数が同等の場合、代表戦を行う。代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。  
代表戦の判定基準も「技有」または「僅差」以上とする。技によるスコアが同等で指導差が1以下の場合、時間無制限のゴールデンスコアを適用する。ゴールデンスコアでは、最初に技によるスコアを得た選手が勝者となる。または、指導の数が多くなった選手が敗者となる。

## 11 体重別個人戦

### (1) 出場枠

- ① 男子  
各学校各階級2名までとする。ただし、以下のように1名追加枠を設ける。
  - (ア) 令和元年度愛知県高校新人柔道大会体重別個人戦において、60kg級、66kg級、73kg級、81kg級においてベスト4以上に残った選手のいる学校には、その学校のその階級に1名追加することができる。
  - (イ) 令和元年度愛知県高校新人柔道大会体重別個人戦において無差別でベスト8以上に残った選手のいる学校には、その学校の90kg級、100kg級、100kg超級の中の任意の階級に1名

追加することができる。

※ 上記の(ア)、(イ)について同一階級に複数の入賞者がいる場合でも追加枠は1名までである(最大で3名まで)。無差別においては複数の入賞者がいる場合、複数の階級に1名追加することはできるが、同一階級で2名以上の追加はできない。

(例1)新人大会無差別で2名がベスト8以上に残った場合

90kg級に2名追加する → 不可

90kg級に1名追加、100kg級に1名追加 → 可

(例2)新人大会無差別で3名がベスト8以上に残った場合

90kg級、100kg級、100kg超級にそれぞれ1名ずつ追加が可能

② 女子 参加人数制限なし

(2) 体重区分

① 男子60kg 66kg 73kg 81kg 90kg 100kg +100kg

② 女子48kg 52kg 57kg 63kg 70kg 78kg +78kg

(3) 計量

① 9:00～9:40の間に行う。時間内なら何度でも計量できる。

② 計量を行わなかった選手および計量をパスしなかった選手は失格となる。

(4) 試合方法

① 体重別(7階級)の個人試合とする。

② 試合はトーナメント戦とする。

(5) 試合規定

① 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。

② 勝敗の決定は以下の通りに行う。

技によるポイントのみがスコアとなり、最後にスコアが上の方が勝ちとなる。

技のスコアが同等の場合は、準々決勝まで及び3位決定戦では指導の少ない方が勝者となる。指導差も無い場合は旗判定により勝敗を決する(従来の県大会と同様)。準決勝および決勝は、技のスコアが同等の場合、指導差が2あれば僅差勝ちとなる。指導差が1以下の場合は時間無制限のゴールデンスコアを適用する。ゴールデンスコアでは、最初に技によるスコアを得た選手が勝者となる。または、指導の数が多くなった選手が敗者となる。

③ 試合時間は3分とする。

④ 同一選手の試合が連続する場合、準々決勝までは3分間のインターバルをとる。

⑤ 準々決勝までの試合および3位決定戦の中で、両者反則負けとなった場合は、ゴールデンスコアを適用し必ず勝者を決める。ゴールデンスコアの扱いは上記②と同様とする。

## 12 感染症対策について

新型コロナウイルスによる感染症防止対策として、以下の対策を実施する。

(1) 参加生徒および部活動顧問の健康状態について

■ 生徒および顧問は、感染者および濃厚接触者でないこと。また、校内で新型コロナウイルス感染者および濃厚接触者が判明した場合は、保健所等の指示に従うこと。

■ 生徒および顧問は、大会当日検温を行い、37.5℃以上ある者は会場へ入場できない。

■ 発熱が無い者でも、倦怠感、息苦しさ、咳、咽頭痛等の自覚症状のある者は会場へ入場できない。

■ 引率顧問および生徒(選手・応援・補助員)は、過去2週間分の「健康記録表」を学校ごとにまとめて、大会当日に受付に提出すること。(提出できない者は入場できない)

※「健康記録表」は大会申込ファイル内にあります。

(2) 会場の3密対策について

■ 大会会場へ入場できるのは、各学校の部員、補助員、引率者および大会役員・審判員のみとする。(保護者や一般生徒、卒業生などは入場できない。)

■ 引率者はエントリー時に申請した3名までとし、会場内では、受付にて配布するIDカードを携帯す

ること。

- 大会会場内において、1 階競技場へ出入りできる生徒は、登録選手および補助員のみとする。登録選手以外の部員は 2 階観覧席で応援すること。また、登録選手でも、試合に敗退した場合は 2 階観覧席で応援すること。

※ 以上までの大会入場規制に関して違反する学校があった場合には、次回以降の大会参加に際して出場停止などのペナルティーを科すことがある。

- 2階観覧席で応援する生徒は、お互いに十分な距離(2m 程度)を保って座り、大きな声での会話や応援は控えること。
- 開会式、閉会式は簡易的な形にして短時間で行う。
- 更衣については、男子選手は 2 階観覧席にて十分な広さを保って行う。女子選手は 1 階女子更衣室と会場内に設置する更衣スペースで分散して更衣する。(場所の割り振りは別途指示)
- 会場には消毒液を設置し、選手・役員は手指消毒をする。
- 会場内の定期的な換気を行う。

(3) 引率顧問・役員・補助員生徒へ

- 必ずマスクを着用してください。
- 手洗い・うがいをしっかり行ってください。
- 定期的な検温を行ってください。

(4) 出場選手へ

- 試合待機時にはマスクの着用をしてください。
- 手洗い・うがいをしっかり行ってください。
- 定期的な検温を行ってください。

### 13 その他

- (1) 団体戦・個人戦ともに、今大会の結果は、来年1月に実施される県新人大会のシードの参考資料となる。
- (2) 大会参加に際しては、監督あるいは顧問(引率教諭)の付き添いを要する。
- (3) 申し込みならびに計量等で不正が生じた場合、チーム全体の出場を認めない等のペナルティーを科す。
- (4) 審判については団体戦、個人戦ともに従来通りの 4 審制(主審 1 名、副審 2 名、ジユリー 1 名)で全て実施する。全ての試合会場において、ケアシステムを使用する。
- (5) 柔道着に関しては、新規定の柔道着(赤枠の IJF ラベルまたは赤色の認証番号のついている柔道着)を必ず着用すること。また、帯についても認定ラベルのあるものを着用すること。
- (6) 規定のサイズのゼッケンを背部に必ず縫い付けること。テープで貼ってあるだけのものや、マジックペンで直接柔道着に記入してあるようなものは不可であり、失格となる。
- (7) 柔道着に不備がある場合、リザーブの柔道着が規定を満たしていれば出場できるが、必ず本人のゼッケンが縫いつけてあること。

本大会は、全日本柔道連盟による感染症対策ガイドラインに則って行います。したがって、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況の変化によって、大会開催可能となる「段階4」にならない場合は中止となります。あらかじめご了承ください。